

歴史

北川副小学校は、128年ほど前の1886(明治18)年、育英小学校という名前で今の場所に建てられた、とても歴史の古い学校です。
学校の東門の近くに、今も「育英学校の碑」が残っています。

北川副小学校のあゆみ

年号	西暦	できごと
明治18	1886	育英小学校という名前で開校する。
明治34	1902	北川副村立北川副小学校という名前に変わる。
昭和16	1941	村立北川副国民学校となる。
昭和20	1945	戦争による空襲で校舎が全焼する。
昭和29	1954	北川副村が佐賀市と合併し佐賀市立北川副小学校となる。
昭和32	1957	保健教育優秀校として、文部大臣より表彰される。
昭和45	1970	現在の北校舎、給食室ができる。
昭和47	1972	中校舎ができる。
昭和49	1974	全国児童作品コンクールで優秀校となる。
昭和51	1976	南校舎が新しく建てられる。古い講堂も建てかえられ、今の体育館が完成する。
昭和60	1985	学校ができて100周年をむかえる。
昭和62	1987	今の場所にプールができる。
平成4	1992	飼育小屋が新しくつくられる。
平成10	1998	総合遊具がつくられる。
平成11	1999	全国花いっぱいコンクール最優秀賞に選ばれる。
平成18	2006	まなびの通級指導教室開設。
平成21	2009	コミュニティ・スクールに指定。
平成24	2013	北校舎、中校舎が解体され、新校舎建築中。

空襲でもえてしまった学校

日本が戦争をしていた昭和20(1945)年8月5日午後10時30分ごろ、空襲を知らせるサイレンが鳴りひびき、しばらくするとたくさんの焼夷弾(しょういだん)といわれる石油の入った燃える爆弾が空から落とされました。これによって北川副の広い地域が大火事となり、学校も全部の校舎が燃えてしまいました。



2013年8月6日(火)平和集会
佐賀東高生による「佐賀空襲」の劇より

児童数が1000人をこす マンモス校に

昭和46(1971)年に今の南部バイパスができると、それまで田んぼが広がっていた木原や新郷地区などに、どんどん家が建ち学校の児童数も増えていきました。そのため、校舎を建てかえたり運動場を広げたりしていきました。その結果、昭和55(1980)年ごろには児童数が1500人にもなりました。しかし、その後児童数が減少し、現在は550人ほどになってしまいました。